

出前授業名	さまざまな書物のかたち	
対象科目	国語 総合学習	
対象学年	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☒ 中学1年 ☒ 中学2年 ☒ 中学3年	
同時対応可能人数	☒ 1学級(約40人まで) ☐ 複数学級同時対応可 ☐ その他:()人まで 備考:	
授業時間	約 45 分 備考:	
授業内容	電子書籍の流通規模が拡大しつつあり、読書のためのツールとしてタブレット・スマートフォン・PCを利用する人が増えています。学校教育の現場でもタブレット端末の導入が進んできました。現在の中学生が社会人になる頃には、電子書籍が一般化していると予想され、《書物のかたち》が大きく変わろうとしています。こうした変革期に遭遇している若い世代に、かつての《書物のかたち》を体感してもらうことがこの授業の目的です。 授業では、日本の古典籍がどのような形態で伝えられ、読まれてきたのか、さまざまな書物のかたちを紹介します。複製本だけでなく、江戸時代の写本・版本にも実際に触れながら、近世以前の人々はどのような形態の書物を見ていたのかということを学び、それぞれの「かたち」の特徴について考えます。 【授業で提示する書物】 絵巻(モノクロ複製本)・奈良絵本(カラー複製本)・古活字丹緑本(カラー複製本) 写本(江戸時代・折り本)・写本(江戸時代・冊子本)・絵入り版本(江戸時代) 絵入り一枚刷り(明治時代)・扇面奈良絵(江戸時代)など 	
教室、設備等	対応可能な教室形態	☒ 通常教室 ☒ 理科室 ☐ 情報端末室 ☐ 体育館等 ☐ その他:
	必要な設備等	☒ プロジェクターとスクリーン ☐ パソコン: 台 ☐ 水道 ☒ その他: 長机2台(通常教室の場合)*備考参照
	備考:	長机を用意できない場合は、生徒が使用している机をつなげて対応します。
派遣講師数	1 名 (1回あたり、授業に出向く人数)	
担当者 (所属学科)	◎大島 由紀夫(一般教科・人文科学) ※ ◎は主担当	